意見第５号

旧統一協会（世界平和統一家庭連合）との関係について政府の責任で調査をし、関係を断ち切ることを求める意見書

標記の議案を次のとおり久喜市議会会議規則第１４条の規定により提出します。

２０２２年９月１４日

提出者　久喜市議会議員
石　田　利　春
渡　辺　昌　代
賛成者　久喜市議会議員
川　辺　美　信

久喜市議会議長　柿　沼　繁　男　　様

旧統一協会（世界平和統一家庭連合）との関係について政府の責任で調査をし、関係を断ち切ることを求める意見書

安倍晋三元総理の殺害を機に、旧統一協会と政治家との関係が注目され、国民の中からは、真相を求める声が高まっている。

旧統一協会は、霊感商法や高額献金の強要、合同結婚式などで、反社会的カルト集団であるとされている。総理大臣や政治家が関わることは、旧統一協会が公正な団体であるかのようなお墨付きを与える広告塔の役割を果たすことである。
一方、旧統一協会と関係があったとする政治家の多くが、選挙の際に票のとりまとめや選挙運動の協力などの便宜をはかってもらったことを認めている。反社会的集団の力を借りて選挙の結果に影響を与えたとすれば大問題である。

岸田総理は、「信教の自由は、憲法上保障されているが、社会的に問題が指摘されている団体との関係は、国民に疑念を持たれないよう、政治家の責任において十分に注意しなければならない」と、個人に判断を任せている。
旧統一協会と政治家は関係をもってはならないことを政府の責任で明確にすべきである。

また、旧統一協会が、現在の世界平和統一家庭連合に名前を変える際の認可に際して政治的配慮があったのではないかについてや、その経緯・理由についての国会議員からの情報公開請求に対し、黒塗りでの提出をした。政府自身が、政治に対する国民の信頼を失う原因を作っている。今必要な態度は、政府が自らの責任で、すべてを調査し対処することである。

以上のことから、次のことを求める。

１　政府の責任で、旧統一協会と政治家との関係を調査し、今後においては、一切、関係を断ち切ることを明確にすること。

２　旧統一協会が名前を変えることを認可した際の「政治的な配慮」の存在や理由について調査し、公表すること。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

久　喜　市　議　会

衆　議　院　議　長
参　議　院　議　長
内　閣　総　理　大　臣　　あて
文　部　科　学　大　臣